

# 提案書

## 第一回 ソナエ組合の開催について

— 「もしも」から「いつも」まで、地域を支える仕組みづくり —

### 1、背景

コロナウイルス収束の見通しが立たない中、介護現場での苦悩が加速している。人が足りない、マスクや消毒液の物が足りない、準備までの時間が足りない、確かな一次情報が足りない。名古屋市ではデイサービスの休業が要請されたり、訪問に切り替える国からの指針が出されたり、先行きの見えない対応が示されている。それでも利用者の生活を守り、職員の健康と生活を守ることがそれぞれの事業所に任されている。しかし、このまま持久戦に突入すると廃業せざるを得ない事業所も出てくるであろう。

反面、事業所ごとのリソース（資源）にはバラツキがありそうだ。利用者数に対して人手が余っている、マスクや消毒液の物が余っている、休業時の対応の準備が整っているなど、足りてるものと足りないものが不均衡な状況にあるのではないだろうか。

今回、有志で始めるソナエ組合の目的は、それぞれの事業所の資源の見える化、利用者と職員の健康と生活を守る具体的な備えの検討・共有、この地域を支える仕組みづくりを目的とする。今回はコロナウイルスをきっかけとした非常時の備え「もしも」を準備するが、これからの地域包括ケアシステムである平時の備える「いつも」地域を支える視点で取り組んでいきたい。

### 2、目的

- ・事業所の資源の見える化、利用者と職員の健康と生活を守る備えを検討・共有し、地域を支える仕組みをつくる。

### 3、内容

- ・コロナウイルスの対応をきっかけに、介護事業所のリソースを見える化する。
- ・確かな一次情報を集め、それぞれの事業所の具体的な対応策を検討・共有する。
- ・利用者と職員の健康と生活を守る具体的な備えの検討・共有する。
- ・コロナウイルスなど非常時の備えのみならず、平時の地域包括ケアシステムに応用する

### 4、具体的な計画

- ・当面の間、頻回に情報共有の場を持ち、現状把握と具体的な備えの検討・共有を行う。
- ・第一回は、すでに連携をとっている事業所やケアマネージャー、地域包括支援センターと方向性を探る。それぞれの事業所の現状や資源、地域やケアマネージャー、包括が求めるサービスのあり方を検討。また第二回以降の具体的な進め方も検討する。

### 5、第一回の開催日時・場所

- ・3月17日（火）19時～21時 場所：斬新社（ソーシャルデイひと花） 甲府市朝気二丁目1-4-3

### 6、今後の参加方法

- ・株式会社斬新社のホームページに、今後の開催状況を掲載。メール登録にて次回予定など連絡する。

[www.zanshinsya.com](http://www.zanshinsya.com)

ソナエ組合 久保田好正（株式会社斬新社・提案家）・五味和仁（株式会社Next Innovation・代表）